様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　8　年　6月　20日

茨城県知事　大井川和彦　　殿

住　　所　茨城県古河市尾崎 2647-1
氏　　名　株式会社三和豆水庵
　　代表取締役社長　鳥越　淳司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0280-76-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社三和豆水庵
事業場の所在地	茨城県古河市尾崎 2647-1
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業　　中分類：食料品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額　34,55 億円
③ 従業員数	105 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	豆腐揚げ物製造工程→廃油→有価物（売却）、一部委託処理（焼却） →廃プラスチック→委託処理（燃料化） →動植物性残さ→委託処理（資源化） →可燃ごみ→自己中間処理（自社施設で焼却）→燃え殻→委託処理（埋立） 廃水処理工程→汚泥→委託処理（資源化、焼却）

（日本工業規格 A 列 4 番）

茨城県
令－8.6.26
県西県民センター
受付

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
社長←処理計画統括責任者
｜
工務責任者←管理責任者
｜
収集者</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　7　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥：水質ﾃﾞｰﾀの測定を基に、汚泥活性処理を最適になるように曝気エアーをコントロールし。汚泥の発生を削減する。
廃プラスチック類：容器変形などの訳あり商品を身障者施設で引取ってもらい、解体で発生する廃プラスチック量の削減、及び包装機の改良により製造ロスを減らし、廃プラスチック容器発生量の削減を行う。
動植物性残さ：おからの有価売却。余剰豆腐を商品、がん材利用。訳あり商品の身障者施設での引取により削減を行う。
可燃ごみ：コピー用紙の表裏使用、節約等で可燃性ごみの削減を行う。
新規カット豆腐製造機械の導入により製造ロスを減らし、廃プラスチック容器発生量、動植物性残さ発生量の削減を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚泥、廃プラスチック類、動植物性残さ、可燃性ごみ：これまで実施した取組の継続。
おからを乾燥させ、全て有価売却する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類：硬質プラスチックは分別して、有価処理しています。分別の徹底により、廃棄の削減を行っております。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類、動植物性残さ：これまで実施した取組の継続を行う。
原料大豆を脱皮せずに使用し、大豆皮を発生させない。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	
	（これまでに実施した取組） 廃油：揚げ物類で使用した廃油は、有価物として売却。一部熱回収業者への処理委託を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 廃油：揚げ物類で使用した廃油は、有価物として売却を継続する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（　７　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	可燃性ごみ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋め立て処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	可燃性ごみ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 引続き埋め立て処分又は海洋投入処分する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（　７　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） 廃プラスチック類：熱回収業者によるサーマルリサイクルにより有効利用を行った。 動植物性残さ：おからを乾燥させ有価売却した。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
廃プラスチック類：熱回収業者によるサーマルリサイクルにより有効利用を行った。
おからは乾燥させ有価売却とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）別紙

（別紙１）

	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	① 現　状　【前年度（　7　年度）実績】				
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	動植物性残さ
排出量	7.26ｔ	1009.02ｔ	0ｔ	0ｔ	833.59ｔ
	②計画　【目標】				
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	動植物性残さ
排出量	10ｔ	3000ｔ	4ｔ	4ｔ	900ｔ

（別紙２）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状　【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	動植物性残さ
全処理委託量	7.26ｔ	1009.02ｔ	0ｔ	0ｔ	833.59ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	0ｔ	1009.02ｔ	0ｔ	0ｔ	833.59ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0t	0ｔ	0ｔ

②計画　【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	動植物性残さ
全処理委託量	10ｔ	3000ｔ	4ｔ	4ｔ	900ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
再生利用業者への処理委託量	0ｔ	3000ｔ	0ｔ	0ｔ	900ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	4ｔ	4ｔ	0ｔ